

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）からのメール情報 第 239 号
2025.10.9

各位

近畿農政局地方参事官室（京都府担当）

時下益々ご清栄のことと存じます。

日頃より地域農政の推進に格段のご理解とご尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

農政に関するメール情報を以下のとおり配信いたします。

皆様の地域の農業を元気にする取組に、少しでもお役に立てば幸いに存じます。

～～今回お知らせする情報～～

- 『近畿 食と農まるごとブック』ができました
- 「農業リーダーズサミット 2025ー変革の時代を生き抜く地域農業の在り方ー女性登用の意義」を開催します（参加者募集）
- 「食輸出セミナー&商談会 2025 in KYOTO」を開催します
- 有機農業の日(オーガニックデイ)～有機農業を盛り上げる取組に参加しませんか～
- 最近の各種統計情報の公表について
- お知らせ済の各種説明会等

[illegible]

- 『近畿 食と農まるごとブック』ができました

農林水産省近畿農政局では、管内の食料・農業・農村分野に関する動向や主要施策の取組状況をとりまとめた「近畿 食と農まるごとブック」（令和６年度版）を作成しました。

本書は、農業・農村の姿を写真や統計データを活用して紹介するとともに、地域における先進的で特色ある取組事例を多数掲載しています。

また、今年度は、「概要版」を作成し、トピック等を短時間で把握できるようにしています。農業関係者をはじめ、行政、教育など幅広い分野の方の参考資料として、ぜひご活用ください。

【本書の特徴】

(1) 統計データ

令和7年6月30日までに公表された最新の統計データを主に、グラフ等によりわかりやすく掲載。

(2) 施策動向

特集「食と農の多様な関わり」をはじめ、食料安全保障の確保、輸出の促進、農村の振興など各分野における最新の動向や、大阪・関西万博での取組などを掲載。

(3) 地域における豊富な取組事例

各地域における先進的で特色ある176の取組を、写真や図表を多数使用して紹介。

※本書の公開先等詳細につきましては下記HPを参照してください。

「プレスリリース」(近畿農政局HP)

<https://www.maff.go.jp/kinki/press/kikaku/250926.html>

【お問合せ先】

近畿農政局 企画調整室 担当者：蔵屋、中田、過能

ダイヤルイン：075-451-9165

- 「農業リーダーズサミット2025ー変革の時代を生き抜く地域農業の在り方ー女性登用の意義」を開催します(参加者募集)

現在、女性は基幹的農業従事者(※)の約4割を占める農業の重要な担い手ですが、農業分野における女性リーダーの数はまだまだ限定的です。

女性の登用を含めた組織の体制・方針・制度設計は、組織トップによるリーダーシップやコミットメントが不可欠であることから、今回、「変革の時代を生き抜く

地域農業の在り方・女性登用の意義」をテーマに、基調講演による地域・人材管理の在り方、各農業関連組織のトップによるビジョンの表明、女性の人材育成の専門

家のお話を通した課題やその打開策など、農業組織の成長に向けて活かせるヒントを皆様とともに探っていきます。

(※) 基幹的農業従事者とは、15歳以上の世帯員のうち、ふだん仕事として主に自営農業に従事している者

【開催概要】

- ・開催日時：令和7年11月27日（木曜日）9時50分から11時30分まで
- ・会場：文京シビックホール 小ホール（東京都文京区春日1丁目16-21）
- ・定員：300名（先着順）
- ・参加費：無料

【プログラム（予定）】

- ・9時30分 開場
- ・9時50分 農林水産省挨拶
- ・10時00分から10時35分まで 基調講演「地域における女性登用の意義と組織トップの役割」
片山善博 氏（元鳥取県知事・元総務大臣、大正大学公共政策学科教授兼地域構想研究所所長）
- ・10時40分から11時20分まで 意思表明「農業分野の女性登用に向けた意気込み・取組方針の表明」
登壇者：一般社団法人全国農業会議所 専務理事 稲垣照哉 氏
JA 全中(一般社団法人全国農業協同組合中央会) 常務理事 福園昭宏 氏
全国土地改良事業団体連合会 専務理事 室本隆司 氏
モデレーター：小安美和 氏（株式会社 Will Lab 代表取締役（女性の人材育成の専門家））
- ・11時20分 閉会挨拶

※参加方法等詳細につきましては下記HPを参照してください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/kourei/251007.html>

【お問合せ先】

農林水産省 経営局就農・女性課女性活躍推進室 担当者：重光、吉野
代表：03-3502-8111（内線 5207） ダイヤルイン：03-3591-5831

○ 「食輸出セミナー&商談会 2025 in KYOTO」 を開催します

関西国際空港では、関西の経済界や自治体等が連携し『食』輸出推進プロジェクトを展開しています。今年はシンガポール・マレーシア・香港で活躍するバイヤーを招

聘し、商談会を開催します!!

輸出未経験者・初心者の皆様でも、安心して輸出事業に一步踏み出していただけるような支援スキームをご紹介します、協力機関による相談会も実施予定です。ぜひ、海外市場へ一步踏み出しましょう!

【日時】

セミナー：2025 年 11 月 12 日（水）10:00～12:00

商談会：2025 年 11 月 12 日（水）10:30～17:00 頃

【場所】

京都経済センター 4階会議室（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地）

【申込締切】

2025 年 10 月 24 日（金）17:00 まで

※申込方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「関西国際空港」（外部リンク）

<https://www.kansai-airport.or.jp/cargo/notices/4376>

【お問合せ先】

食輸出セミナー&商談会 2025 in KYOTO 開催事務局

MAIL：cargo@kansai-airports.co.jp

○ 有機農業の日(オーガニックデイ)～有機農業を盛り上げる取組に参加しませんか～

「有機農業の推進に関する法律」（通称：有機農業推進法）が成立してから 10 周年を記念し、2016 年に、12 月 8 日が記念日「有機農業の日」として制定されました。

有機農業とは、化学肥料や化学農薬を原則使わず、可能な限り環境に配慮した栽培方法であり、土壤環境や生物の多様性など農業生態系を守ることにつながります。

12 月 8 日「有機農業の日（オーガニックデイ）」をきっかけに、有機農産物等を活用した給食の提供や有機食品の販売促進、情報発信などに取り組んで、有機農業の推進に参加してみませんか？

【「有機農業の日（オーガニックデイ）」の取組に参加する方法】

「有機農業の日（オーガニックデイ）」に係る取組を募集しています！特設サイトへの掲載を希望の自治体様や事業者様は以下から応募をお願いいたします。

なお、応募の際には「「有機農業の日（オーガニックデイ）」特設サイトへの掲載に係る応募要領」のご確認をお願いいたします。

※応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「有機農業の日（オーガニックデイ）～有機農業を盛り上げる取組に参加しませんか～」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/yuuki/yuki2025/yukinohi2025.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農業環境対策課

代表：03-3502-8111（内線 4928）ダイヤルイン：03-6744-2494

○ 最近の各種統計情報の公表について

【年計調査】

- ・ 9月30日 令和6年漁業経営統計調査結果
- ・ 9月26日 令和6年度野生鳥獣資源利用実態調査結果
- ・ 9月25日 令和7年度容器包装利用・製造等実態調査結果
- ・ 9月19日 令和6年木質バイオマスエネルギー利用動向調査結果

※詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「統計情報」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/index.html>

○ お知らせ済の各種説明会等

● 「第10回ジビエ料理コンテスト」の応募者の募集について

本コンテストは、鳥獣利活用推進支援事業において、「一般社団法人国産ジビエ認証機構」が取り組むもので、選定・表彰された料理レシピを広く紹介・提供することで、消費者等への普及啓発を図り、ジビエの全国的な需要拡大と鳥獣利活用の推進を図るものです。

今年度は、「一般部門」と「小・中・高校生部門」の2部門に分けて、幅広くレシピを募集します。

【募集内容及び条件】

(1)募集テーマ

国産のシカ・イノシシを使用し、多くの方がご家庭で作れて、安全でおいしく楽しめる料理

(2)応募資格

<一般部門>

プロ・アマ不問。調理を専門に履修している高校生。

<小・中・高校生部門>

小学生、中学生、高校生。チーム（1チーム3名まで、小学生、中学生のチームは親子参加も可）。

【応募の締切】

令和7年10月31日（金曜日）必着

※応募条件や応募方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/tyozyu/250806.html>

【お問合せ先】

農林水産省 農村振興局農村政策部鳥獣対策・農村環境課 担当者：伊藤、米澤

代表：03-3502-8111（内線5491）ダイヤルイン：03-3502-6041

- 「食と農をつなぐ朝ごはんコンテスト2025」に係るレシピを募集します～簡単朝ごはん、毎日食べよう！～

近畿農政局及び大阪ガスネットワーク株式会社は、学生の皆様が「食」や「地元近畿の有機農産物等」に関心をもち、自ら考え作ってみることで、食に対する意識、行動の変化を促すことなどを目的に、朝ごはんレシピ（おむすびと一品料理）を募集します。

応募されたレシピは、近畿農政局のホームページ及び大阪ガスネットワーク株式会社の食育ホームページに掲載するとともに、優秀な料理に対して表彰を実施します。たくさんの学生の皆様のご参加をお待ちしております。

【募集期間】

令和7年6月26日（木曜日）～令和7年10月31日（金曜日）17時まで

【応募内容】

- ・おむすび+α（1品）の朝ごはんレシピ※
- ※1人分（おむすび2個と1品料理）×2
- ・近畿の有機農産物等を1つ以上使用

- ・ガスコンロ（グリル含む）使用など

【対象】

学生2名チーム

（高校生、大学生、短大生、専門学校生など）

※応募条件や応募方法等詳細については、以下のHPを参照してください。

「プレスリリース」（近畿農政局HP）

https://www.maff.go.jp/kinki/press/syouhi/seikatu/250626_1.html

【お問合せ先】

近畿農政局 消費・安全部消費生活課 担当者：田村、江添、脇坂

ダイヤルイン：075-414-9771

- 「雇用就農資金」令和7年度第2回目の募集を実施します(令和7年10月事業開始分)

農林水産省では、50歳未満の就農希望者を新たに雇用する農業法人等に対して資金を交付しています（雇用就農資金）。

今般、令和7年10月からの事業開始を希望される方を対象として、令和7年度第2回目の募集を実施します。

【雇用就農資金の事業タイプと募集期間】

(1) 事業タイプ

○ 次世代経営者育成タイプ

農業法人等がその職員等を次世代の経営者として育成していくため、国内外の先進的な農業法人や異業種の法人に派遣して実施する実践研修を支援します。（月最大10万円、最短3ヶ月～最長2年間）

(2) 募集期間

○ 次世代経営者育成タイプ（本タイプは、申請日の翌々月から事業開始となります。）

令和8年1月30日（金曜日）まで随時募集

※申請方法等詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

「プレスリリース」（農林水産省HP）

<https://www.maff.go.jp/j/press/keiei/zinzai/250701.html>

【お問合せ先】

農林水産省 経営局就農・女性課 担当者：菅原、石川

[illegible]

メール情報の配信停止・配信先変更ご希望の方は、その旨を記載し、このメールに返信願います。

地方参事官ホットライン

メールアドレス : kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp

[illegible]

E-MAIL: kinki_sanjikan_kyoto@maff.go.jp
